

製薬業界で鍛えた技術・品質管理で プラスチック成形の一流企業へ

納期
相談
企画力
自信有
試作可
小ロット
量産
対応



クリーンルーム環境で高品質なもののづくりを実践

射出成形と ブロー成形を展開

射出成形とブロー成形によるプラスチック製品の製造を手がける。売上高の80%強を小型の医薬品容器で占め、約20社ある主力取引先の多くは製薬業界向け。首曲げボトル容器や無菌対応の点眼容器などは製薬メーカーと共同開発したものであり、その技術力は高く評価されている。

昭和42年に大阪市内から大阪府交野市に事業拠点を移して以降、設備投資を着実に進め、現在は4つの工場棟が稼働する。また、プラスチック加工業界では珍しいクリーンルームもいち早く導入し、併せて検査体制も充実させている。

高度なダイレクトブロー 成形を実現

容量5ml〜100mlの小口サイズのプラスチック容器が主力製品。製品に応じて、クリーンルーム下で製造・検査・梱包・発送までを一括で行う。

中でも5ml点眼容器のブロー成形は高度な技術が求められる。母材である筒型溶融樹脂（パリソン）が室温や湿度、風圧の違いですぐ変化し、その形状を一定に保つのが難しいからだ。そこで生産設備や金型、工法などの工夫に加え、最適な生産条件を見いだすことで高度なダイレクトブロー成形技術を確認し、これらの安定供給を可能にしている。

品質 医薬品の包材向け 品質規格も取得

製薬業界向け製品を扱うため、品質管理には特に力を入れてきた。工場内のクリーンルームの清浄度は病院の手術室に近い

「クラス10,000（ISO規準クラス7）」を実現。品質の安定化を強固にするため、平成14年にISO9001を取得、さらに平成29年には医薬品の一次包装材料向け品質規格ISO15378も取得した。

約70名いる従業員の半分強が検査工程に関わり不良品を出さない仕組みを徹底。毎月実施する社内幹部による品質会議は、品質の取り組み強化策や改善策を話し合い、ものづくりの競争力向上に結びつけている。

今後の展望 自社ブランド製品も強化

高度なもののづくりに努め続け、安定経営を維持してきた。これからの健康志向社会を背景に独自のサプリメント用容器なども展開する。原舜輔社長は「今後は自社ブランド製品の開発も強化し、新規開拓を増やしていきたい」と、新たな事業の柱も検討する。

生産現場や事務所では、仕事や社会人としての心構えとして「一流の条件」を掲げ、社員と共有を図る。射出成形やブロー成形の1級・2級技能士など資格取得も奨励し、人材育成にも力を入れている。プラスチック成形の一流企業を目指す挑戦に終わりは



主力製品を支えるダイレクトブロー成形機



検査体制も強化する

当社の歴史



主力取引先である製薬メーカーの信頼も得て、当社の歴史は70年を超えました。縁もあり、創業者で父親の原清成が気に入っていた北河内の一隅、大阪府交野市でものづくりを続けてきました。今後も地域に貢献できる企業を意識し、事業継続していきたいと思ひます。

代表取締役社長 原舜輔さん

ISO 9001
ISO 15378

主な事業内容
医薬品関連容器などの製造

主な取引先(納入先)
製薬メーカー、
化粧品メーカー

●住所 〒576-0054
交野市
幾野5-10-1
●TEL 072-891-0356
●FAX 072-891-0359
●創業 昭和20年9月
●設立 昭和22年9月
●資本金 1,200万円
●従業員 71名

<http://www.senkojushi.co.jp/>